

浚渫兼油回収船「清龍丸」

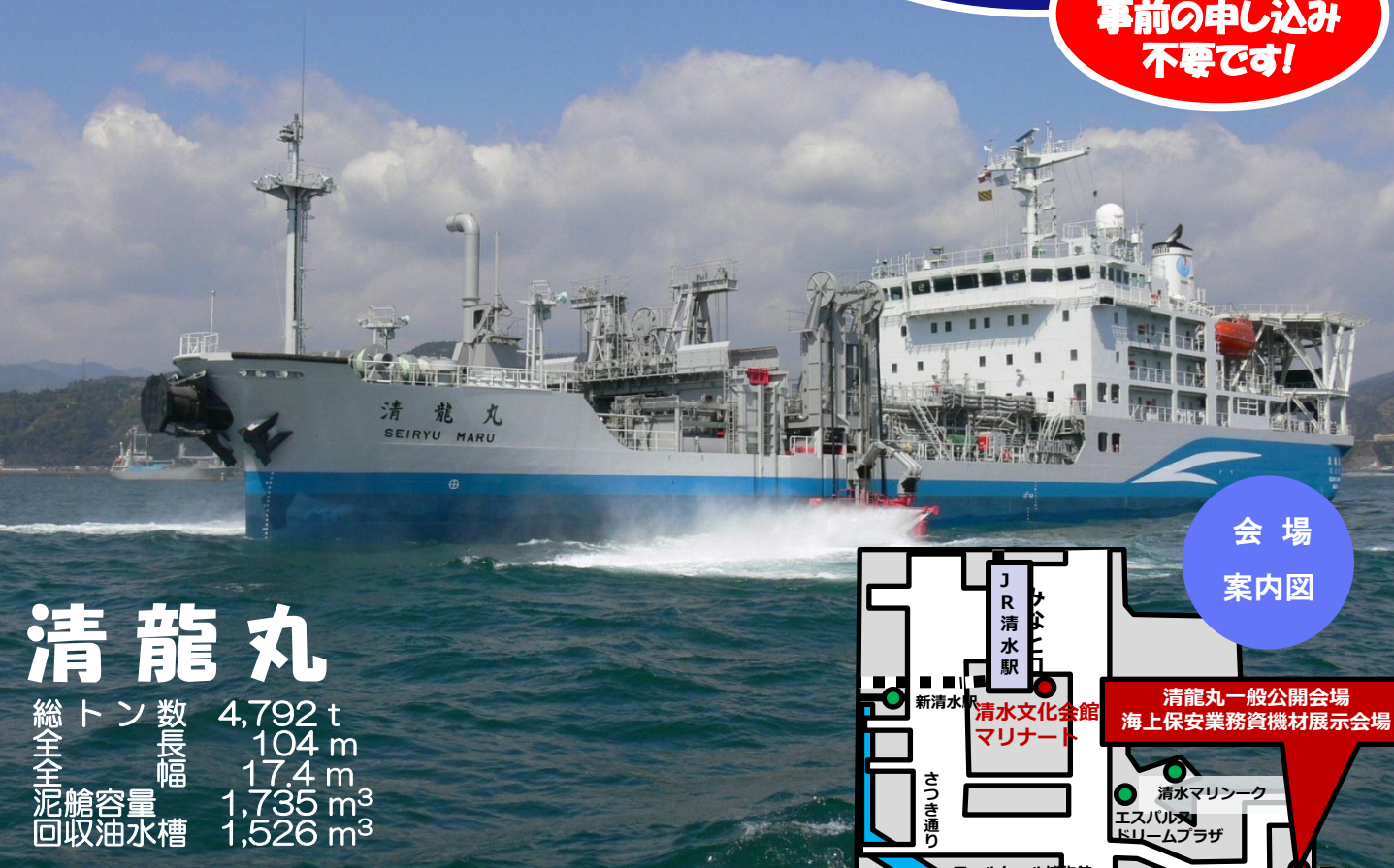
船内一般公開

- 「清龍丸」は、大型タンカーなどから大量に流出した油を海上で回収するために国土交通省が所有する3船のうちの1船です
- 平成9年に日本海で発生したナホトカ号油流出事故のときには、初代「清龍丸」が油回収活動を行い活躍しました
- 船内では、海上で油回収を行うための装置などを見学することができます

公開日時
5月28日(木)

10時～15時
清水港日の出ふ頭

**現地受付！
事前の申し込み
不要です！**



清龍丸

総トン数 4,792 t
全長 104 m
全幅 17.4 m
泥艙容量 1,735 m³
回収油水槽 1,526 m³

会場
案内図



清龍丸一般公開会場
海上保安業務資機材展示会場

日の出ふ頭

「JR清水駅」または静岡鉄道
「新清水駅」から静岡鉄道バス
三保方面行き「波止場フェル
ケール博物館」下車徒歩10分

お問い合わせ先
国土交通省 中部地方整備局

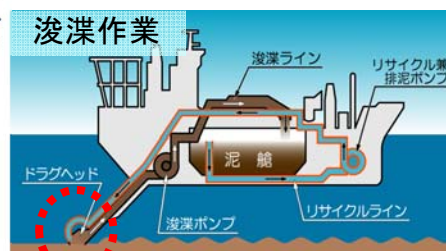
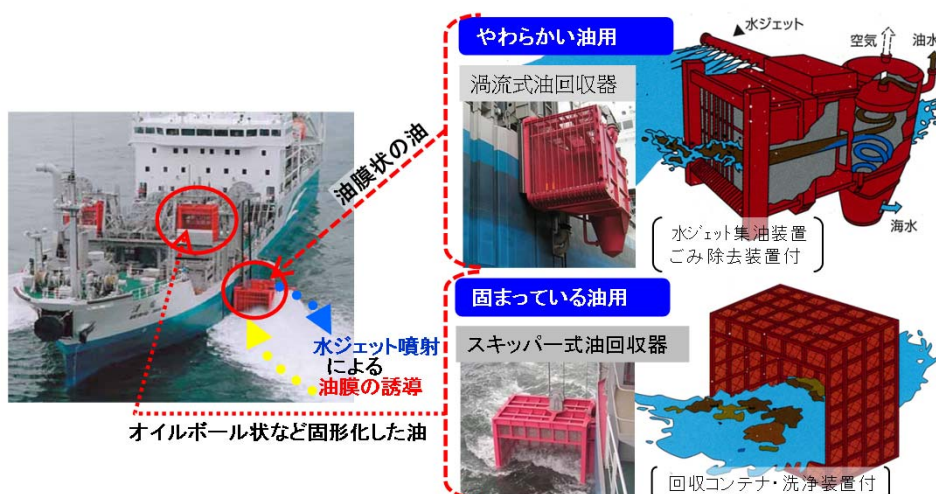
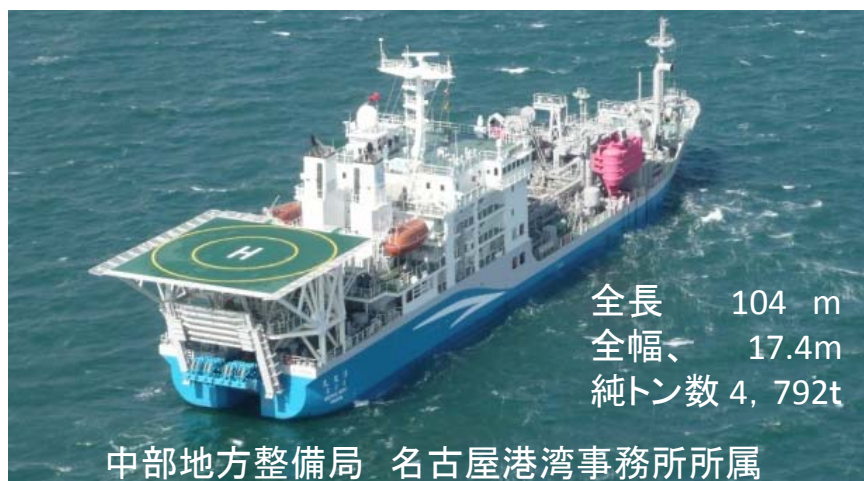
名古屋港湾事務所 〒455-0045 名古屋市港区築地町2番地
TEL 052 (651) 6791 FAX 052 (651) 3801

清水港湾事務所 〒424-0922 静岡市清水区日の出町7番2号
TEL 054 (352) 4146 FAX 054 (353) 3072

浚渫兼油回収船「清龍丸」の概要

「清龍丸」の行う業務

- 通常は、航路、泊地等の浚渫作業。
 - ・高精度で平坦浚渫を可能とする幅広い新型ドラグヘッドを装備。
- 大量油流出時には、速やかに流出現場に向かい、油回収作業。
 - ・油の状況に応じた2種類の回収器を装備。
- 災害時には、災害支援作業（災害情報収集、救援物資輸送、給水、電力供給等）。
 - ・情報収集・発信のための通信システムや防災要員・物資運搬等のためのヘリデッキを装備。



油回収タンクに約1時間で1,000kl（ドラム缶約5千本分）の油水を回収可能。